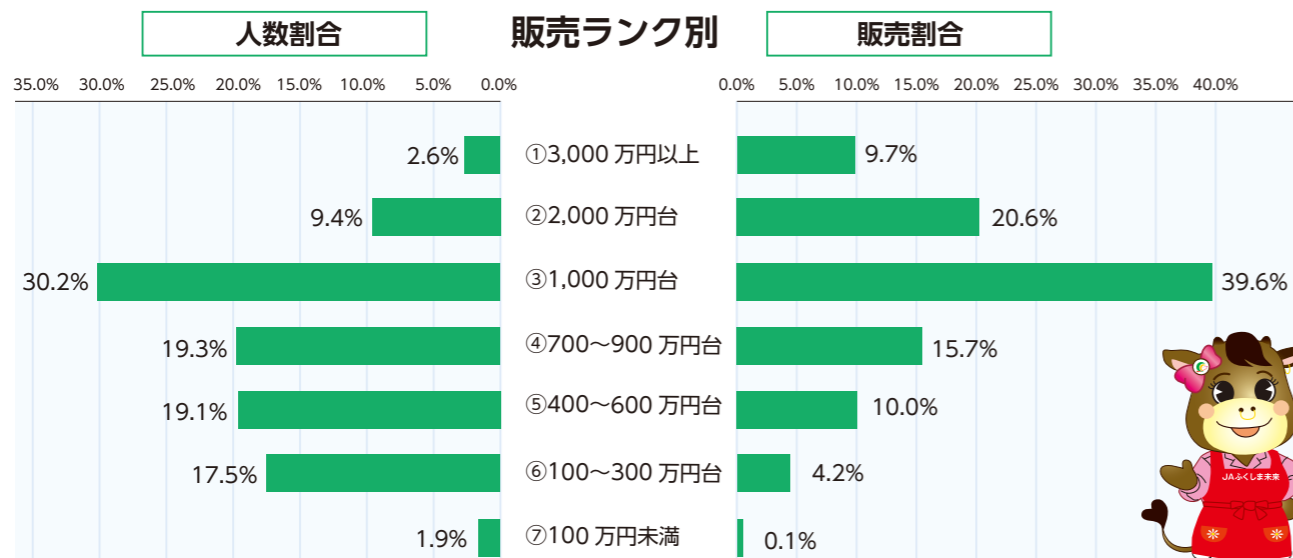


【販売ランク別】 所得アップ率とアップ状況

分析対象とした簿記帳代行 424 件



販売高ランク	区分	単位：百万円			所得アップ経営体	
		令和元年	令和4年	アップ率	人数割合	最大アップ額
①3,000万円以上	収入	350	489	139.6%	90.9%	27,683千円
	経費	243	284	116.8%		
	所得	107	205	191.4%		
②2,000万円台	収入	852	1,027	120.6%	72.5%	14,080千円
	経費	557	652	117.0%		
	所得	294	375	127.5%		
③1,000万円台	収入	1,789	2,031	113.5%	68.0%	7,392千円
	経費	1,193	1,334	111.8%		
	所得	596	697	116.9%		
④700~900万円台	収入	796	816	102.4%	53.7%	4,757千円
	経費	536	547	102.0%		
	所得	260	269	103.2%		
⑤400~600万円台	収入	557	525	94.3%	42.0%	4,891千円
	経費	375	361	96.3%		
	所得	182	164	90.2%		
⑥100~300万円台	収入	274	250	91.3%	52.7%	1,833千円
	経費	182	168	92.6%		
	所得	92	82	88.7%		
⑦100万円未満	収入	48	15	30.9%	25.0%	47千円
	経費	28	5	19.3%		
	所得	20	9	47.6%		

- ①分析対象のうち約4割が販売高1,000万円以上で、販売全体の約7割以上を販売しています。
- ②販売ランク別には700万円以上の階層で収入を伸ばし所得アップ100%以上となりました。特に3,000万円以上の階層では約2倍になるなど大口販売農家になるほど所得アップの幅が大きい結果となりました。



参考

- 農家所得（雑収入）への貢献・・・令和4年 JAふくしま未来が関係するもの（受付業務含む）
- JAふくしま未来の配当金・助成措置等 約9億円
(出資配当4億円、分量配当金1億円、農業振興支援事業2.2億円、次期作支援等1.8億円)
 - 飼料用米の直接交付金 約29億円 ●青果物価格補償等 約5億円 ●畜産関連助成金等 約1億円
 - 東京電力損害賠償金 約30億円
- JAふくしま未来では、上記にかかる関連業務のほか、国等の支援窓口機能も果たしながら農業所得アップに貢献しています。

第3期みらいるプラン（中期経営計画書）と地域農業振興計画に基づき、みらいるテンの継続強化により農業者の所得増大をめざして総合事業を全力で展開してまいります。

農業者の所得アップを検証報告

みらいるプラン(中期経営計画書)の地域農業振興戦略 「農業者の所得増大と農業生産の拡大」

みらいるテン！
運動

農業者所得10%UPへの挑戦

「収量アップ」「品質アップ」「コスト削減」

販売価格
UP

×

農業生産の
拡大

-

生産トータルコスト
DOWN

+

農業振興
支援事業



所得アップの優良事例を毎月紹介

農業者の所得増大については、毎月当広報誌「みらいる」にて農業振興支援事業を活用した優良事例を紹介しています。



みらいるテン！
運動の成果として確定申告書より農業者所得アップの検証を実施しました

農業者所得アップの検証方法

- 簿記帳代行の利用者640件のうち、4か年（令和元年～4年）継続利用し、424件の農業所得用決算書（農業収支内訳書）より令和元年と令和4年を比較分析しました。
- なお、専従者控除や青色申告特別控除は対象外とし、これら控除前の額を農業所得としました。（上記の結果、農業所得がマイナスの方は今回の比較分析対象者から除いています）



424件の合計額
【収入・経費・所得】

■令和元年■

収入 46.7億円
経費 31.2億円
所得 15.5億円

令和元年から令和4年の
農業者所得の合計額は
16.1%のアップ

■令和4年■

(元年差額)
収入 51.8億円 (+4.8億円)
経費 33.5億円 (+2.3億円)
所得 18.0億円 (+2.5億円)

【収入の内訳】

- ①販売高：41.1億円⇒43.8億円 (+ 2.7億円)
- ②雑収入：5.0億円⇒7.7億円 (+ 2.2億円)

【経費の内訳】

- ①肥料費：1.5億円⇒1.8億円 (+0.3億円)
- ②農薬費：2.3億円⇒2.4億円 (+0.1億円)

総括

- ①販売高は果物類が2.7億円と大きく伸ばし全体を押し上げる結果となりました。米は0.6億円ダウンしましたが飼料用米への転換も影響していると考えられます。
- ②交付金（飼料用米交付金含む）、助成金、収入保険、損害賠償金等の雑収入項目が2.2億円伸ばしました。
- ③一方、経費は2.3億円上昇しましたが、結果として農業所得全体では16.1%アップとなりました。

※上記は、簿記帳代行「個人情報取扱承諾書」個人情報の利用目的内の「農家経営指導のためにJAで利用」に基づいたものです。なお、分析結果は統計情報であり個人情報には該当しません